



財政事情に関する公表書

豊能町の令和7年度・令和8年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和8年8月1日

豊能町長 上 浦 登



我が国の景気は、緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響を注視する必要があります。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要があります。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要があります。

本町では、人口の減少や高齢化による影響で、主要な自主財源である町税の減少傾向が続いており、歳入の74.9%を地方交付税などの依存財源に頼る状況が続いています。

一方で、人口急増期に建築した建物やインフラが一齐に更新時期を迎え、歳出面の財政負担が増加傾向にあります。現在実施中の公共施設の再編等により、今後も多額の財源が必要となり、歳入の不足を基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。

本町では、このような厳しい財政状況においても基金の取り崩しに頼ることのない健全な財政運営を目指すために、令和7年7月に「豊能町新たな行財政改革推進計画」を策定しました。

その中で、「行政経営の改革」、「施設運営の改革」、「財政運営の改革」、「組織体制の改革」の4つの取組区分を柱として、具体的な取組項目及び内容をまとめており、計画の実現に向けて町全体で取り組んでいきます。

令和7年度の一般会計決算見込みは、歳入総額につきましては119億747万4千円で、対前年度29億5,920万円、33.1%の増、歳出総額につきましては109億9,661万4千円で、対前年度26億1,797万3千円、31.3%の増となっています。形式収支につきましては、9億1,086万円の黒字となっています。実質収支につきましては、令和8年度に繰越すべき額である1億4,114万3千円を差し引き、7億6,971万7千円の黒字となっています。

また、令和8年6月末現在における令和8年度の一般会計の予算額は、繰越財源を含み86億6,760万円で、前年度同期と比較して-25億9,223万5千円、23.0%の減となっています。6月末現在での収入済額は、36億3,504万円で、前年度同期と比較して6億8,692万2千円、23.3%の増、支出済額は、12億9,059万9千円で前年度同期と比較して-6,543万3千円、4.8%の減となっています。

その他の詳細については、別添のとおりです。